

尾鷲市津波避難タワー設計業務委託 仕様書

1. 本仕様書の位置付け

本仕様書は、尾鷲市津波避難タワー設計業務委託（以下「本業務」という）に係る業務仕様を示すものである。
本業務は、①中井町津波避難タワー、および②矢浜津波避難タワーの2施設に係る業務であり、本仕様書は2施設に共通する仕様を示すものである。

2. 業務内容

2施設分の

地盤調査業務	ボーリング調査
実施設計業務	設計図書、積算資料の作成
積算業務	
建築確認申請等手続き	その他 諸官庁への届出一切

※建築確認申請等各種申請にかかる費用は、本業務委託費に含む

業務の手続き及び手順

設計業務は、次に示す手続き及び手順により行う

- ・業務に先立ち、業務着手届等、必要書類を提出する
- ・地盤調査、および、当該敷地及び近隣の状況等の事前調査を実施すること
- ・基本となる設計図を作成し、本市の確認を受けた上で詳細な設計に進むものとする
- ・本市及び各関係官公署との打合せ事項を記録し提出する
- ・設計完了後に本書に適合しない箇所及び設計内容に瑕疵が発見された時は、事業者の責任において設計図書の修補を行う

3. 業務委託期間

契約締結から令和8年2月20日（金）まで

4. 整備対象施設の概要

	①中井町津波避難タワー	②矢浜津波避難タワー
建設予定地	尾鷲市中井町46-1、48	尾鷲市矢浜1丁目460-11
敷地面積	687.32㎡	947.76㎡
地域地区	用途地域：非線引き都市計画区域内 指定なし 建蔽率／容積率：70/200	同左 同左
制限等	道路斜線制限 1：1.5 距離20m 隣地斜線制限 1：2.5 立上り31m 北側斜線制限 なし 壁面後退 なし 日影規制 なし	同左 同左 同左 同左 同左
構造	不問	不問
階数	避難階を2層とする	避難階を2層とする
延床面積	避難場所面積 300㎡以上を確保すること	避難場所面積 300㎡以上を確保すること
避難階の高さ	第1層 GL+12m 第2層 GL+15m	第1層 GL+10m 第2層 GL+13m
既存建築物の概要 （R7年度内解体予定の別 途工事）	①RC造3階建 旧銀行事務所 延床面積 575.36㎡ ②RC造2階建 店舗併用住宅 延床面積 186.92㎡	S造平屋建 旧保育園園舎 延床面積 389.60㎡
	※ただし解体することで隣家の安全性に影響のある構造物については残置することがある	

（共通事項）

- ・構造体は、津波、地震動、漂流物、火災に対して安全な構造とする
- ・「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準（国土交通省）」等に基づく耐震安全性の分類は、構造体Ⅱ類とする
- ・基礎構造は、地震動による液状化、津波による洗堀、転倒及び滑動等に対し安全な構造とする
- ・階段は1か所、有効幅員は1.2m以上確保し、最短距離で避難階に到達できるものとする
- ・スロープは1か所設置し、有効幅員は1.2m以上、勾配および踊り場の高さは協議による
- ・避難階には1.5m以上の転落防止柵を設置する
- ・避難者が必要とする物品を収納する防災倉庫（10㎡程度）を避難階に設ける
- ・施設出入口口部分の施錠の有無は協議によるものとする
- ・電力は全て再生可能エネルギーもしくは、非常用自家発電設備による給電とする
- ・夜間であっても施設の位置、施設内避難経路が視認できるような計画とする
- ・避難上、また構造上過不足のないデザインとし、有事の際に誘導しやすい計画とする
- ・敷地内は原則アスファルト舗装とし、隣地境界にはフェンスを設ける
- ・施設概要、利用案内看板を設置する

5.適用基準

港湾の津波避難施設の設計ガイドライン（国土交通省港湾局）
官庁施設の総合耐震・対津波計画基準（国土交通省大臣官房官庁営繕部）

6.建設費用想定

2施設分の直接工事費として 計420,000千円（税抜）を限度とする

7.地盤調査の概要

項 目	摘 要	数 量
地質調査	機械ボーリング 66Φ 1本×25m×2カ所	50m
	孔内水平載荷試験	2回
	標準貫入試験	50回
	サンプリング	2本
	地下水位調査	1式
室内土質試験	土粒子密度試験	1試料
	土の含水比試験	1試料
	土の粒度試験（沈降分析）	1試料
	細粒分含有率試験	1試料
	土の液性限界試験	1試料
	土の塑性限界試験	1試料
	一軸圧縮試験	1試料
解析等調査	資料整理とりまとめ	1式
	断面図等の作成	
	液状化の考察	
	総合解析とりまとめ	

※調査用水は受託者において確保するものとする。
※下記のいずれかの場合には、ボーリングを中断又は終了し、監督職員に報告する
・所定の深さに達した場合
・標準貫入試験において貫入不能となった場合、又は岩を確認した場合

報告書には、次の事項を記載する
・付近の地形及び地盤の概要
・敷地の状況、調査位置、基準点と調査位置の地盤高さの高低関係（図示）
注）東京湾平均海面（T.P.）との関係を柱状図に記載すること
・ボーリングによる土質柱状図
・サウンディングの結果
・地下水位調査の結果
・物理試験の結果
・総合考察（液状化の考察、基礎形式の考察とも）

8.成果品

設計図書	設計図面	設計図 A3 2つ折り版 製本1部
	構造計算書	
積算資料	工事設計仕訳書	金入り仕訳書1部（尾鷲市指定様式）
	代価表	複合単価については代価表作成のこと
	単価根拠	建設物価・建設コスト情報等 業者見積にあつては三社以上の見積とする 上記三社見積書についての対比表
	数量計算書	
建築確認申請書類、確認済証		建築確認に関する申請一切 その他 諸官庁への届出一切
地盤調査報告書		
打合せ記録簿		
完成予想図（パース）		
その他本市が指示するもの		

電子データとともに提出すること（図面についてはjwwデータ）